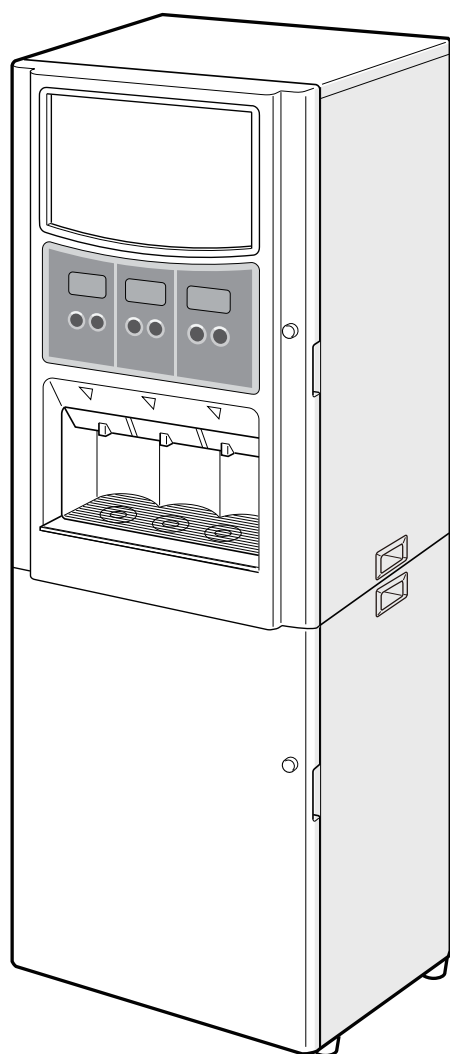


自動お茶いれ機 取扱説明書

形 名

HPT-363L



もくじ

安全上のご注意	1～3
お願い	4
各部のなまえとはたらき	5～6
はじめてご使用になる前に	7～8
給水のしかた	9
排水のしかた	10～11
茶の葉の入れかたと交換条件	11
コントローラーの使いかた	12～32
コントローラーで設定できる機能	12～14
数値設定する機能の設定可能値	15
初期設定・通常設定の選択	16
給水方式を設定する	16
動作音を設定する	17
基準値を設定する	18
週間予約を設定する	19
休日予約を設定する	20
リンスする	20～21
湯温・適温を設定する	22
沸騰させる	22～23
浄水器の交換時期を設定する	24
学習省エネ運転を設定する	25
冷却用タンクの水の交換時期を設定する	26
現在時刻を合わせる	27
休止・故障履歴を見る(通常設定のみ)	28
原料の量を設定する	29
飲料の量を設定する	29
茶の葉を交換する	30
茶の葉の交換条件を設定する	30
長時間放置後の抽出量の追加を設定する	31
冷水機の運転・停止	31
適温になっていないが抽出する	32
累計の抽出回数を見る	32
お手入れ	33～36
別売部品	37
修理サービスを依頼する前に	38～39
仕様	39
保証とアフターサービス	40
長期使用製品の安全に関するお願い	41

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 工事説明書および保証書を販売店から必ずお受けとりのうえ保存してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
据え付け工事の完了後は、試運転を行い異常がないことを確認してください。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。

- ＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- ＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁 止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指 示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注 意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

⚠ 警告

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事が必要です。またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

原料容器棚には手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

飲料抽出動作中は機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

茶の葉の交換動作中は交換機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買上げの販売店に依頼し、必ず湯タンク内の湯を排水してください

再度、湯タンクヒーターを通电させるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください

衛生上の問題や故障の原因になります。



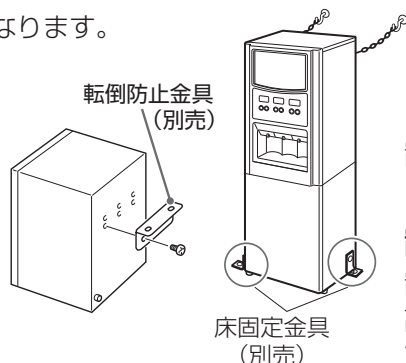
衛生注意

地震などによる転倒防止の処理をする

振動により転倒し、けがの原因になります。

自動お茶いれ機の転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具を使用して、壁や柱に固定してください。部品はお買上げの販売店にご相談ください。



自動お茶いれ機と別売置台の連結

置台に付属の取付金具 B (3 枚) を同梱の説明書の通り取付け、自動お茶いれ機と置台を連結してください。

置台の転倒防止

置台を使用する場合は、グラグラしないように置台の高さ調整脚で高さを調整し、置台を別売の床固定金具で確実に固定してください。



転倒防止

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

カップ置台の上に乗ったり、重いものを載せない

カップ置台が破損しけがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

本体の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



引火物禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯 (30℃以上) や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

お願い

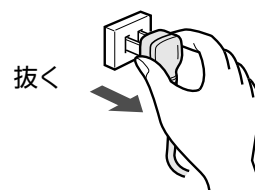
長時間お使いにならないとき

2日以上ご使用にならなかったとき

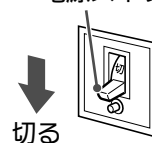
雑菌が繁殖している恐れがあります。

湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開け、電源スイッチを切り、カップステーションと茶がら容器を取りはずし、湯排水コックを「開」にして排水します。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。また、本体内の残水をすてるために、飲料ボタンの「冷水」を5～6回押します。日常のお手入れは、湯排水コックを閉じておこなってください。



電源スイッチ



1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。止水栓を閉め排水し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「排水のしかた」(10～11ページ参照)に従い排水してください。

別売置台(CT-33L)及び排水容器キット(OKT-11L)をご使用の場合は、水タンクと排水タンクの水も、必ず排水してください。

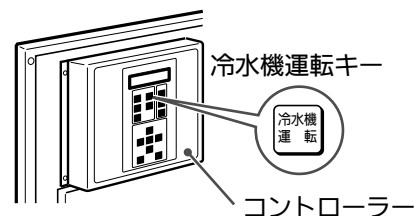
お願い

別売置台CT-33L、排水容器キットOKT-11Lの排水タンクに排水するときは、自動お茶いれ機本体の湯タンクの容量が、排水タンクの容量(10L)より多くなります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。

冬期などで冷水を長期間お使いにならないとき

コントローラーの「冷水機運転」キーを押します。表示部の指示に従い「ティシ」に設定し、冷水機を停止させ冷却用タンクの排水をおこなってください。

冷却用タンクの排水は、「年に一度のお手入れ」(36ページ参照)の排水方法に従ってください。

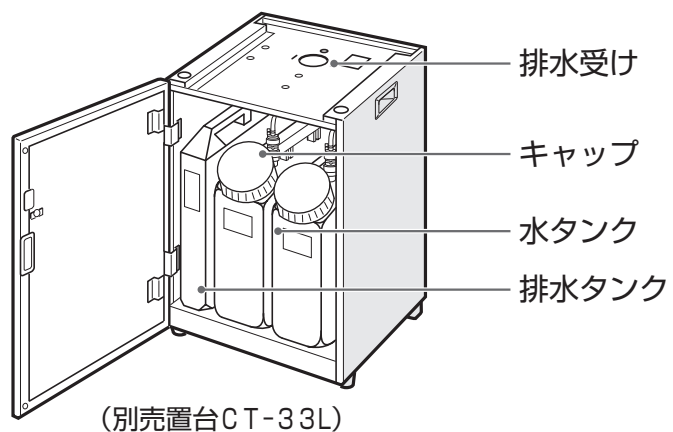
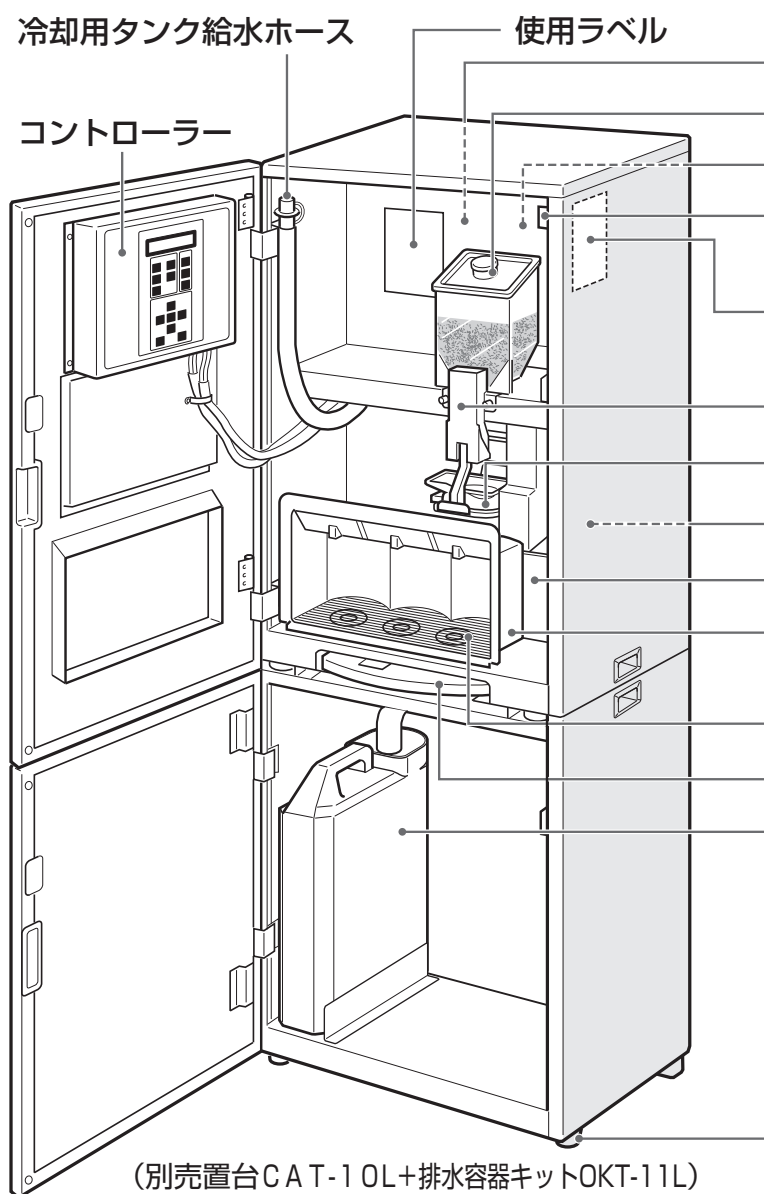
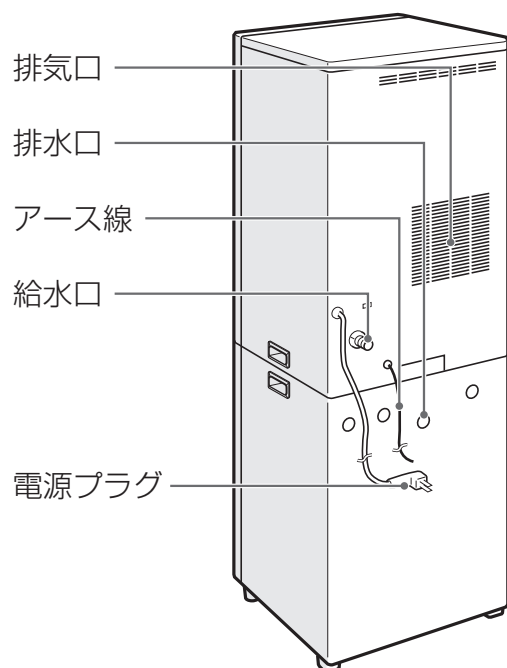
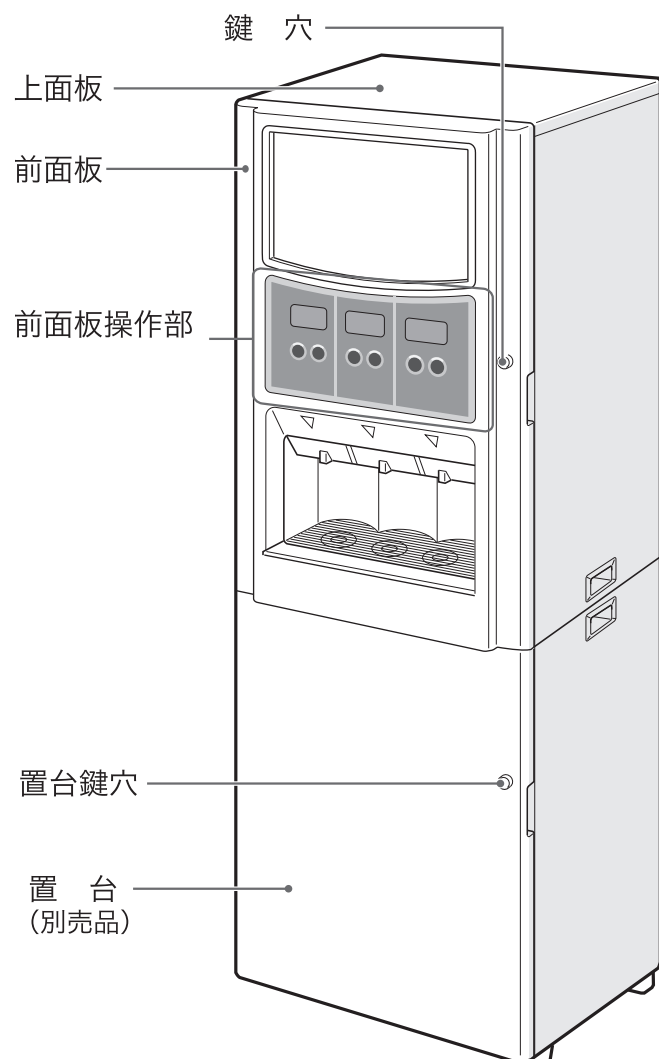


お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

各部のなまえとはたらき

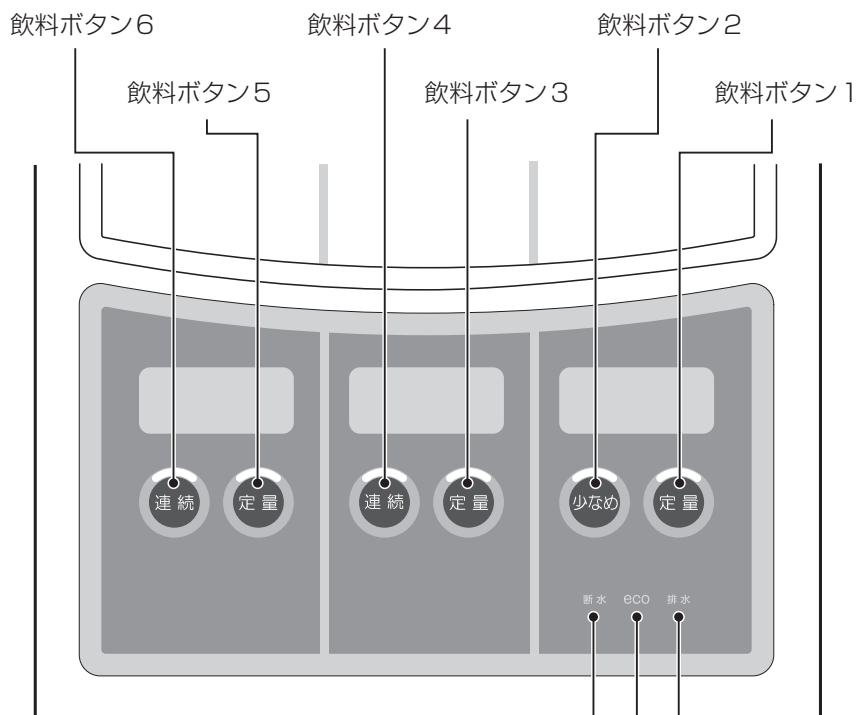
本 体



前面板操作部

飲料ボタンとボタンランプ

- ・ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと抽出することができます。
抽出中はボタンランプが点滅します。
- ・ボタンランプが消灯しているときは、その理由がコントローラーの表示部に表示されます。
- ・ボタンランプが全て点滅しているときは、リンス中を表します。



断水ランプ

正常な状態では消灯しています。
断水になると点滅します。

ECOランプ

学習省エネ運転動作中
省エネ運転動作中、
エコ制御動作中、
週間予約動作中に点灯します。

排水ランプ

正常な状態では消灯しています。
置台の排水タンク・排水容器が満水になると点滅します。

冷却用タンク

原料容器

湯タンク

電源スイッチ
(漏電遮断器)

安全上のご注意ラベル

原料シュート

茶こし

湯排水コック

茶がら容器

カップ
ステーション

スノコ

排水皿

排水タンク

高さ調節脚

はじめてご使用になる前に

警告

湿気の多いところや、水のかかる
ところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

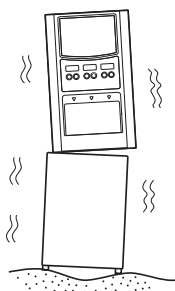
D種接地工事が必要です。またアース線は
ガス管・水道管・避雷針・電話線などへの
接続はしないでください。



アースの接続

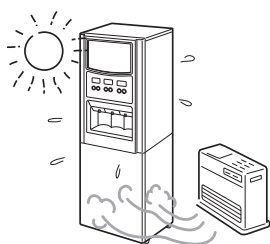
設置環境の確認

床は丈夫で平坦な場所に据えつけられていますか
床が傾いていたり不安定な場所では、
転倒したり振動や騒音の原因になり
ます。



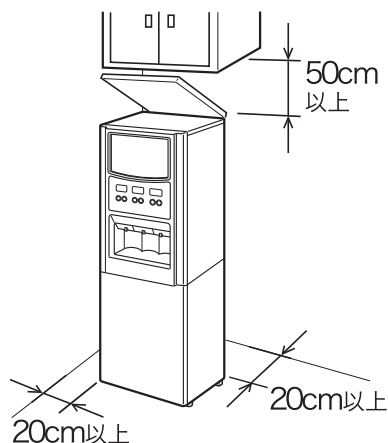
直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付け
られていませんか

冷水機の冷却効果が低下したり、
過熱し故障の原因になります。



風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え
付けられていますか

必ず両側面と後面は20cm以上の隙間を開けてください。
スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開け
たとき物に当たったりします。また、上側は修理サービス
のときに、上面板が開けられるように50cm以上空間を
開けてください。



輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

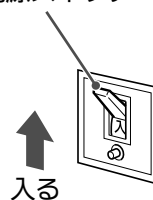
電源の入れかた

前面板を開けて、電源スイッチを兼ねている漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入ります。

別売置台CT-33Lをご使用の場合

電源を入れる前に、置台の水タンク2個に満水レベルまで給水してください。
水タンクが空の状態では電源を入ると、ポンプが故障する原因になります。

電源スイッチ



より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、つぎの手順を2～3回繰り返して内部を洗浄してください。

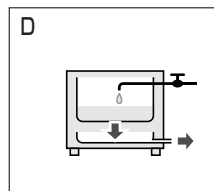
1. 「給水のしかた」（9ページ参照）に従い給水します
2. 前面板操作部の各飲料ボタンを押し、それぞれコップに4～5杯分の水を排水します
3. 「排水のしかた」（10～11ページ参照）に従い本体内部の水を排水します
4. 再度、給水してからご使用ください

給水排水方式について

据付場所や給水・排水の方法により 4 つのタイプがあります。

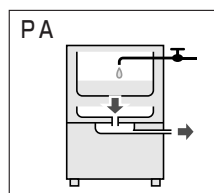
Dタイプ（水道直結・直接排水・卓上式）

既存のテーブルやカウンターの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。

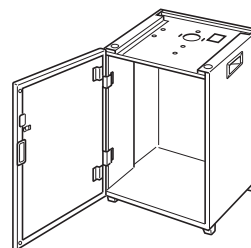


PAタイプ（水道直結・直接排水式）

別売置台CAT-10Lの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）が組込まれているタイプと組込まれていないタイプがあります。

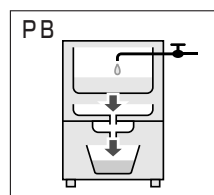


別売置台CAT-10L

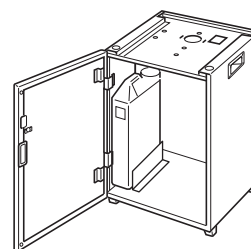


PBタイプ（水道直結・排水容器付）

別売置台CAT-10Lに別売排水容器キットOKT-11Lにて排水容器を取り付けます。改造した置台の上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水タンク（10L）に排水して使用します。

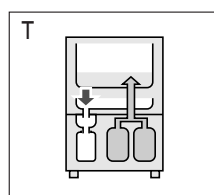


別売置台CAT-10L
+ 別売 排水容器キットOKT-11L

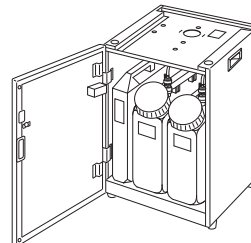


Tタイプ（下部給水・排水容器付）

給水は置台の水タンク（15L×2個）から内蔵ポンプで自動給水をおこない、排水は排水口へ直接排水、または置台の排水タンク（10L）に排水することができます。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）が組込まれています。ポンプ電源は本体からとり、電源コンセントはいりません。



別売置台CT-33L



給水のしかた

前面板を開け、カップステーションと茶がら容器を取りはずし、湯排水コックが閉まっていることを確認します。



湯タンクへの給水

Dタイプ(水道直結・直接排水・卓上式)、PAタイプ(水道直結・直接排水式) またはPBタイプ(水道直結・排水容器付)の場合

1 止水栓を開き給水する

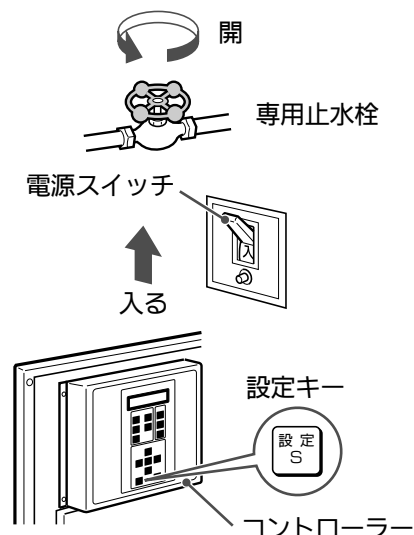
水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。

2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。

3 断水や一度で満水にならないとき

断水や一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅して給水を一時中止します。水道の給水を確認しコントローラー操作部の「設定」キーを押してください。給水を再開します。



Tタイプ(下部給水・排水容器付)の場合

⚠ 注意

2つのタンクに給水してから電源を入れる

1つのタンクに給水しただけでは正常に動作せず、故障の原因になります。



1 置台の水タンクに給水する

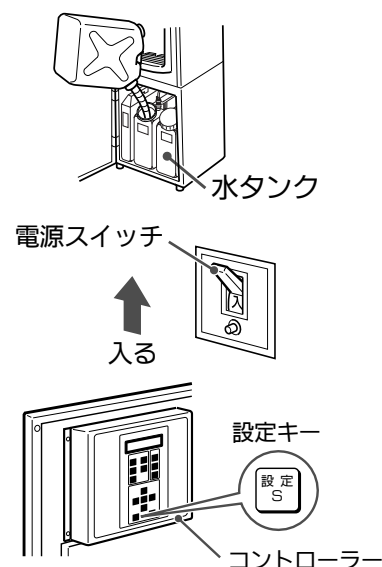
ポリタンクなどで、置台の水タンク2個に満水レベル(15L)まで給水します。

2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。

3 水タンクが空になったり一度で満水にならないとき

水タンクが空になったり、一度で満水にならないときは、前面板の断水ランプが点滅し、給水を中断します。水タンクに水を補給しコントローラー操作部の「設定」キーを押すと、給水を再開します。



冷却用タンクへの給水

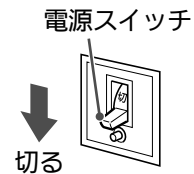
冷却用タンクへの給水は「年に一度のお手入れ」(36ページ参照)の給水方法に従ってください。(満水になると休止モニターの「レイキャクスイダンスイ」の表示が消えます。)

排水のしかた

湯タンクの排水

1 電源スイッチを切る

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを下げ電源を切ります。
電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。



2 湯排水コックを開き排水する

カップステーションと茶がら容器を取りはずし、湯排水コックを開きます。別売置台の排水タンクに排水するときは、自動お茶いれ機本体の湯タンクの排水量が、排水タンクの容量(10L)より多くなる場合があります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。



お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。湯タンクの水を排水してください。

3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し湯排水コックを閉じます。

冷却用タンクの排水

冷却用タンクの排水は「年に一度のお手入れ」(36ページ参照)の排水方法に従ってください。

別売置台 (CT-33L) 水タンクの排水

湯タンクの排水をしてから、水タンクの排水をしてください。

1 湯排水コックを開き、電源を入れる

前面板を開けカップステーションと茶がら容器を取りはずし、湯排水コックを開き電源を入れます。

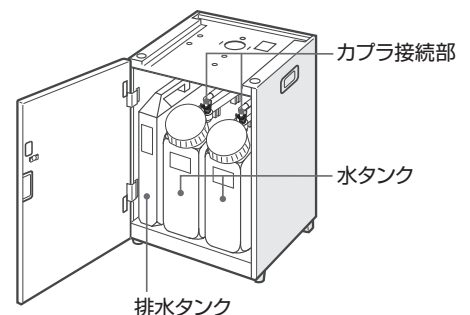
電源を入れたままで湯排水コックを開くことにより、水タンクの水を湯タンクに給水しながら排水がおこなえます。約5分が過ぎると自動的に給水が停止します。排水が足りないときは、再度「設定」キーを押してください。

排水量が排水タンクの容量(10L)より多い場合は、必ず2回以上に分けて溢れさせないように排水してください。



2 カブラをはずし残水をすてる

水タンクの水がほぼ無くなったら、電源を切り水タンク上部のカブラをはずし、水タンクを取り出し残水をすてます。



3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し、湯排水コックを閉じます。

お願い

別売置台CT-33Lは、2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。水タンクの水を排水してください。

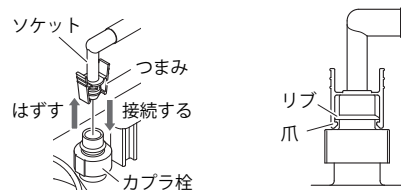
排水のしかた (つづき)

●カブラの着脱

はずすときは、ソケットのつまみを持って、上方へ持ち上げてはずします。

接続のときは、ソケットをカブラ栓の突き当たりまで差し込み、カブラ栓のリップにソケットのつまみの爪を引っ掛けて固定します。

接続するときは、ソケットの爪がカブラ栓のリップに引っかかって固定されていることを確認してください。爪がはずれていると、使用中にソケットがはずれるおそれがあります。



茶の葉の入れかたと交換条件

⚠ 警告

茶の葉の交換動作中は交換機構部に手を触れない
けがをする原因になります。



接触禁止

指定の原料（茶の葉）以外はご使用にならないでください。

原料の種類によって茶の葉の大きさなどが異なると、正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、販売店にご相談ください。

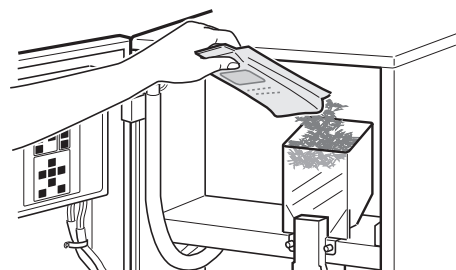
茶の葉を入れる

茶の葉は、原料容器の蓋をとり、上から静かに入れてください。原料容器の容量は、約1,200ml（専用茶で約420g）です。

原料容器をたたいたりして、茶の葉を無理に詰め込まないでください。

内部で詰まり出なくなることがあります。

茶がら容器が一杯になる前に、茶がらを捨ててください。



茶の葉の交換条件の変更

出したお茶の量をマイコンが記憶し、設定した量に達すると自動的に茶の葉を交換します。茶の葉の交換条件はコントローラーで設定することができます。「茶の葉の交換条件を設定する」（30ページ参照）。

手動で交換するとき

お手入れの後や手動で交換したいときは、前面板を開けコントローラーの「茶の葉交換」キーを押します。

「茶の葉交換」キーは、連続して押すと、故障の原因となります。茶の葉が出終わった後、10秒以上の間隔をあけてください。



コントローラーの使いかた

コントローラーで設定できる機能

冷水機運転キー

冷水機の運転、停止を設定します。

リンスキー

抽出部の洗浄動作を行います。動作時の湯・水量、定期的にリンスを行う設定は「選択」キーによる「自動リンス」で行ってください。

沸騰キー

湯タンクの沸騰動作を行います。沸騰動作中にキーを押すと解除します。また、定期的に沸騰を行う設定は「選択」キーによる「沸騰制御」で行ってください。

タイマー解除キー

このキーを押し「イチジカイジョ」に設定すると、次の休止中条件が一時解除され運転・抽出ができますようになります。

- ・適温設定温度以上、以下
 - ・「学習省エネ」「週間予約」「休日予約」「抽出時間帯」で休止中
- また、キーを長押し（2秒）することで、学習省エネ運転のデータをクリアできます。

エコ運転キー

このボタンは使用しません。

茶の葉交換キー

キーを押すと茶こしが動作します。動作中は交換機構部に絶対に手を触れないでください。

設定キー

入力操作した内容が設定されます。また故障解除時にキーを押します。

表示部

待機画面では、現在時刻・湯タンク・冷水機の運転状態および温度を表示します。飲料が抽出できない状態では「休止モニター」、故障の場合は「故障モニター」を自動表示します。

湯・水・原料キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

カウンターキー

トータル→ボタン別→有料（※）の累計抽出回数を順次自動送り表示します。（※）別売のコイン管理装置が必要です。

選択キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

訂正キー

表示部の指示により設定内容を変更・自動表示送りを停止をするときに使用します。

終了キー

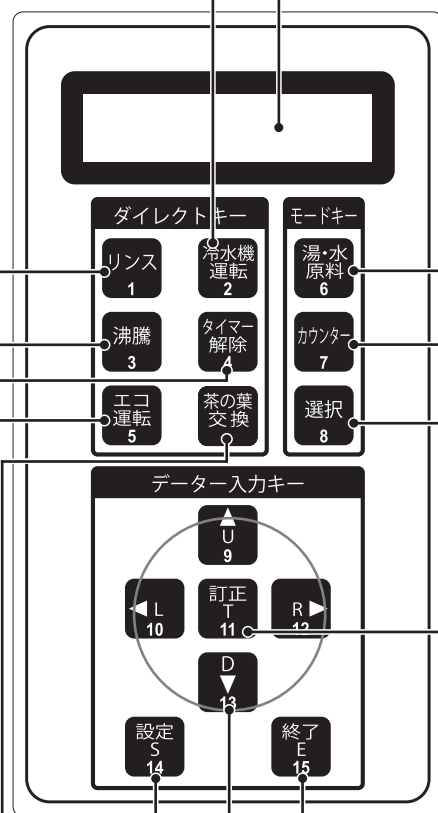
待機画面に戻ります。「リンス」「沸騰」の動作中はボタンを押しても待機画面に戻りません。

カーソルキー

表示画面の中で設定する項目送り、項目・内容・数値選択・自動送り表示を停止するのに使います。

◀▶：項目・内容選択

△▽：項目送り、内容・数値選択、自動送り表示停止



コントローラーの使いかた (つづき)

湯・水 原料 キー

機 能	内 容
原 料 (初回)	茶の葉を交換して最初に茶こしに入れる茶の葉量を設定できます。
原 料 (追加)	お茶の濃度を均一にするために、2杯目以降に追加する茶の葉量を設定できます。 初回の茶の葉だけでお茶を出すと、数杯は濃く出ますがその後は次第に薄くなります。 追加機能は抽出するごとに茶の葉を追加するので、お茶の濃さをほぼ同じにすることができます。
湯 ・ 水	各飲料ボタンの湯または水の抽出する量を設定できます。
交 換 湯 量	新しい茶の葉と交換する累計抽出湯量を設定できます。 抽出量ではなく抽出回数で新しい茶の葉と交換することもできます。
交 換 時 期	お茶が出がらしにならないように、自動で新しい茶の葉と交換する時間を設定できます。
湯 ・ 水 追 加	お茶を2時間以上放置したときの、1杯目の抽出量を増やす割合を設定できます。

選択 キー

機 能	内 容
休 止 履 歴	休止があった場合、最新の休止20項目が表示されます。
故 障 履 歴	故障があった場合、最新の故障20項目が表示されます。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。
現 在 時 刻	現在の年月日、時刻の調整に使用します。曜日は年月日に合わせて自動修正されます。
湯 温 ・ 適 温	湯温（お湯の沸き上げ温度）と適温（飲料の抽出可能温度）の設定ができます。
週 間 予 約	曜日ごとに運転時間を設定できます。 休日や夜間などの運転を自動的に停止させることができます。
休 日 予 約	連続して停止させたい期間の年月日を最大9回まで設定できます。 連休などの運転を自動的に終日停止させることができます。
学習省エネ運転	過去3週間の使用状態を学習し、最適な運転モードに自動切替し、消費電力量を抑える機能です。 (1) 湯タンクの運転 ●過去3週間に使用された時間帯及びその前の1時間は、 「湯温」の設定値が何度であっても80℃で運転する。 「適温（湯）」の設定値が何度であっても73℃を適温とする。 ●過去3週間に使用されなかった時間帯は、 「湯温」の設定値が何度であっても沸き上げは行わず、 「適温（湯）」の設定値が何度であっても63℃を下回るまでは使用可能とする。 (2) 冷水機の運転 ●過去3週間に使用された時間帯及びその前の1時間は、 「適温（水）」の設定値が何度であっても8℃を適温とする。 ●過去3週間に使用されなかった時間帯は、 冷水機の運転は行わず、 「適温（水）」の設定値が何度であっても10℃を上回るまでは使用可能とする。
沸 騰 制 御	1日に最大3回、設定時刻になると自動的に湯を沸騰させることができます。
自 動 リ ン ス	曜日ごとに1日最大4回、設定時刻に抽出口や配管などを自動的にリンス（洗浄）することができます。またリンスするときの湯・水の量、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替えも設定できます。（※除菌浄水器（水フィルター）が必要です。）

選択

キー

機 能	
浄水器交換	除菌浄水器（水フィルター）の交換時期を設定し、交換時期に達した時に警告または停止させるかどうかの選択を行うことができます。 この機能は別売の除菌浄水器付の置台または除菌浄水器（水フィルター）が必要です。
冷却水交換	冷却用タンクの水の交換時期を設定し、交換時期に達した時に警告または停止させるかどうかの選択を行うことができます。
給水方式	この機能は置台（CT-33L）のポンプ、および排水容器キット（OKT-11L）と漏水検知装置（RKT-25）に使用している外部電磁弁の動作のパターンとその最大動作時間を切り替えるものです。動作のパターンは、「下部タンク」と「水道」が設定できます。 「下部タンク」は給水要求（フロートスイッチが下がる）の都度、ポンプの運転、外部電磁弁の開動作を行い、「水道」は漏水を検知したとき以外は常に開動作しているように設定するものです。 置台（CT-33L）を使用している場合は、必ず「下部タンク」に設定してください。（工場出荷時は「下部タンク」に設定しています。） 最大動作時間は、水道の断水や、置台の水タンクが空であることを検知するために設定します。一度の給水で、設定された連続時間を超えると「休止モニター」に表示して、給水動作を停止させます。 「下部タンク」に設定した場合は5分間、「水道」に設定した場合は5～10分間の設定が可能です。
動作音	各種動作音の有無を設定できます。 （コントローラーの操作音／抽出時の動作音／リンス時の動作音／沸騰制御の動作音）
基準値	湯・水の設定値と実際の抽出量との違いを補正する機能です。 この機能で設定することにより、「湯・水・原料」の機能で設定した量を正しく出すことができますようになります。
チェック	マイコンのバージョン情報を表示します。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。

コントローラーの使いかた (つづき)

数値設定する機能の設定可能値

機 能			設 定 可 能 値	設定のきざみ
湯 ・ 水 ・ 原 料	原料の量	初回	0.1g～15.0g	0.1g
		追加(注1)	0.0g～5.0g	0.1g
	湯・水の量(注2)		1ml～200ml・連続	1ml
	交換湯量(注3)		1回～9回 100ml～1400ml	1回、100ml
	交換時間		0分～120分	1分
	湯・水追加		0%～50%	10%
湯 温 ・ 適 温	湯 温		73℃～98℃	1℃
	適 温(注4)	湯	63℃～85℃・しない	1℃
		冷水	3℃～20℃・しない	1℃
週 間 予 約	週間予約動作		する・しない	
	曜 日		月～日・一括(毎日)	
	時 刻(注5)	ON時刻	00:00～23:59・連続	1分
		OFF時刻	00:00～23:59・連続	1分
	冷水機運転		する・しない	
休 日 予 約	休日予約動作		する・しない	
	年月日	開始日	131001～331231	1日
		完了日	131001～331231	1日
エ コ 制 御	エコ制御運転の実行		する・しない	
省 エ ネ 運 転	省エネ運転の実行		する・しない	
	時 刻	ON時刻	00:00～23:59	1分
		OFF時刻	00:00～23:59	1分
学 習 省 エ ネ 運 転	湯 温		73℃～98℃	1℃
	冷水温		0℃(氷あり検知制御)・3℃	
	適 温(注4)	湯	63℃～85℃・しない	1℃
		冷水	9℃～20℃・しない	1℃
	開始時間		00:00～23:00・しない	1時間
沸 騰 制 御	沸騰動作		する・しない	
	時 刻(注6)		00:00～23:59・しない	1分
	自 動 リ ン ス	リンス動作		する・しない・週間予約同期
曜 日		月～日・毎日		
時 刻(注6)		00:00～23:59・しない	1分	
湯 量		1ml～200ml	1ml	
水 量		1ml～200ml	1ml	
除菌浄水器(水フィルター)		0ml～5000ml	1ml	
自動排水		する・しない・週間予約同期		
湯タンク自動排水	曜 日		月～日・毎日	
	時 刻(注6)		00:00～23:59・しない	1分
	浄 水 器 交 換	交換時期動作		警告・停止・しない
開始日・使用期限		131001～331231	1日	
冷 却 水 交 換	交換時期動作		警告・停止・しない	
	開始日・使用期限		131001～331231	1日

- 湯・水・原料の量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。
- 工場出荷時は標準的な使いかたの値が設定されています。くわしくは各機能の設定画面を表示してご確認ください。
 - (注1) 追加を「0.0g」に設定すると追加はしません。
 - (注2) 湯、水の量を「連続」に設定すると、その飲料ボタンは押している間だけ飲料を抽出します。
 - (注3) 交換湯量は「1回～9回」に設定すると抽出回数で、「100ml～1400ml」に設定すると抽出量で新しい茶の葉と交換します。「1回」に設定すると毎回新しい茶の葉と交換します。
 - (注4) 適温を「しない」に設定すると湯温や水温に関係なく抽出できます。
 - (注5) 時刻を「連続」に設定すると終日運転または終日停止になります。
 - (注6) 時刻を「しない」に設定すると動作はしません。

初期設定・通常設定の選択

初めてご使用の際は、「初期設定」を選択し、メニューに表示される各項目の設定を完了してください。

使用開始後の設定の際は、「通常設定」をご利用ください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		R・Lデエランデセンタク ショキセッテイ ツウジョウ	待機画面から、「選択」キーを押して、左の画面を表示させます。
2		R・Lデエランデセンタク ショキセッテイ ツウジョウ	 キーで「初期設定」か「通常設定」を選択し、「選択」キーで各項目を呼び出し、設定を行います。

給水方式を設定する

【例】給水方式を水道直結タイプとし、最大動作時間を10分に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウスイ ホウシキ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		キュウスイ ホウシキ MAX カブタンク 5	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ホウシキ」の下が点滅します。
4		キュウスイ ホウシキ MAX スイドウ 5	 キーで「ホウシキ」を「スイドウ」にします。
5		キュウスイ ホウシキ MAX スイドウ 10	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「MAX」を「10」にします。
6		キュウスイ ホウシキ MAX スイドウ 10	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●下部給水タイプは給水を「カブタンク」の設定（工場出荷時設定）でご使用ください。

●水道直結タイプは給水を「スイドウ」の設定でご使用ください。

コントローラーの使いかた (つづき)

動作音を設定する

【例】 沸騰動作中の動作音を消す。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ドウサオン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ソウサオン スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ソウサオン」が点滅します。
4		フットウドウサオン スル	  キーで「フットウドウサオン」の画面を表示させます。「スル」に設定してあると動作中に音が鳴ります。
5		フットウドウサオン シナイ	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」を「シナイ」にします。
6		フットウドウサオン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 以下の各動作音の有無を設定できます。
コントローラーの操作音／抽出時の動作音／リンス時の動作音／沸騰制御の動作音

基準値を設定する

この機能は「湯・水・原料」機能（29～31ページ参照）で設定する量が、実際の量と異なる場合に補正をする機能です。設定するには、メスシリンダーやはかりなどが必要です。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キジュンチ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		オチャ ュ ミズ キジュン 140 110 330	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「キジュン」が点滅します。
4	  	オチャ ュ ミズ キジュン 150 110 330	 キーで「オチャ」の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、お茶の飲料抽出口からお湯が出てきますので、容器で受けて計量します。 数回測定して出した平均値を   キーで入力します。 ここでは仮に150mlとします。
5		オチャ ュ ミズ キジュン 150 110 330	「設定」キーを押し、設定を確定します。 同様に「ユ」、「ミズ」も設定します。
6	 	ゲンリョウ キジュン 16.5	 キーで「ゲンリョウ」の画面を表示させます。
7	  	ゲンリョウ キジュン 12.5	 キーで「ゲンリョウ」の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、原料容器から原料が出てきますので、容器で受けて計量します。 数回測定して出した平均値を   キーで入力します。 ここでは仮に12.5gとします。
8		ゲンリョウ キジュン 12.5	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●コントローラーを交換したときや、RAMクリアを行ったときは、基準値設定をしてください。

コントローラーの使いかた (つづき)

週間予約を設定する

【例】日曜日を終日停止、その他の日は8：00から20：00の間運転とし、冷水機も同様の運転とする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*シュウカン ヨヤク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ヨヤク シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ヨヤク」が点滅します。
4	 	ヨヤク スル	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」にします。
5		ヨヤク スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	ヨウビ ON OFF イッカツ レンゾク **：**	  キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面を表示させます。
7	 	ヨウビ ON OFF イッカツ 08：00 20：00	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「ON」を「08：00」、「OFF」を「20：00」にします。
8		ヨウビ ON OFF イッカツ 08：00 20：00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	ヨウビ ON OFF (日) 08：00 20：00	  キーで「ヨウビ」の下が「日」の画面を表示させます。
10	 	ヨウビ ON OFF (日) 08：00 レンゾク	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「OFF」を「レンゾク」にします。
11		ヨウビ ON OFF (日) **：** レンゾク	「設定」キーを押し、設定を確定します。 ON時刻は自動的に「**：**」となります。
12	 	レイスイキ ウンテン スル	  キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
13	 	レイスイキ ウンテン シナイ	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「シナイ」にします。
14		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
15		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 設定は後設定優先となっているため、順序6と9を逆にすると毎日が指定時刻の運転となります。
(後から一括設定すると日曜日も含めて設定されるため、日曜日の終日停止が解除されてしまいます。)
- 順序13で冷水機運転を「スル」に設定すると、先に設定した週間予約に関係なく、運転停止中でも冷水機だけは運転します。

休日予約を設定する

【例】 2014年7月15日から2014年7月17日まで運転を休止する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウジツ ヨヤク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ヨヤク シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ヨヤク」が点滅します。
4		ヨヤク スル	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「スル」にします。
5		ヨヤク スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		1カイメ カイシ シュウリョウ 140601 140601	 キーで「1カイメ」の画面を表示させます。
7		1カイメ カイシ シュウリョウ 140715 140717	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「カイシ」を「140715」、「シュウリョウ」を「140717」にします。
8		1カイメ カイシ シュウリョウ 140715 140717	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		レイスイキ ウンテン スル	 キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
10		レイスイキ ウンテン シナイ	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「シナイ」にします。
11		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 最大9回まで設定できます。
- 2日以上ご使用にならなかったときは、雑菌繁殖の恐れがあります。
湯タンクや別売置台の水タンクの水は、新しい水道水に入れ替えてください。
また、各飲料ボタンを5～6回押しして注水動作を行い、配管内の残水を排水してください。

リンスする

すぐにリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リンスチュウ* ネットウガ デマスノデ チュウイ シテクダサイ	キーを押すとリンスを実行し、リンスが終了すると待機画面に戻ります。

- リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

コントローラーの使いかた (つづき)

定期的にリンスをする場合

【例】毎日、11:00と16:00と22:00に湯量40ml、水量30mlでリンスを行い、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替え量を3000mlに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ジドウリンス* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		リンス スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「リンス」が点滅します。自動リンスを行わない場合は、カーソルキーと「設定」キーで「シナイ」に設定してください。
4	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 07:00 シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「マイニチ」の画面の「1カイメ」「2カイメ」の画面を表示させます。
5	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 11:00 16:00	キーで点滅位置を移動し、 キーで「1カイメ」を「11:00」、「2カイメ」を「16:00」にします。
6		ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 11:00 16:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ シナイ シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「マイニチ」の画面の「3カイメ」「4カイメ」の画面を表示させます。
8	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ 22:00 シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「3カイメ」を「22:00」にします。
9		ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ 22:00 シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
10	 	ユ ミズ リョウ 50ml 20ml	キーで「リョウ」の画面を表示させます。
11	 	ユ ミズ リョウ 40ml 30ml	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ユ」を「40」、「ミズ」を「30」にします。
12		ユ ミズ リョウ 40ml 30ml	「設定」キーを押し、設定を確定します。
13	 	ジョウスイキ リョウ 3000ml	キーで「ジョウスイキ」の画面を表示させ、 キーで「ジョウスイキ」を「3000ml」にします。
14		ジョウスイキ リョウ 3000ml	「設定」キーを押し、設定を確定します。
15		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序3で「リンス」を「シュウカンヨヤクドウキ」（週間予約同期）に設定すると、「週間予約」（「週間予約を設定する」19ページ参照）の設定OFF時刻にリンスを行います。
- 順序13で「ジョウスイキ」を設定すると、動作設定してある曜日に1日1回だけ、1回目のリンス時刻に除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替えを行います。

湯温・適温を設定する

【例】湯温を95℃、湯の適温を70℃、冷水の適温を10℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユオン・テキオン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ユオン テキオン hot cold 98℃ 63℃ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユオン」の下が点滅します。
4	   	ユオン テキオン hot cold 95℃ 70℃ 10℃	  キーで「95」を表示させます。   キーで点滅位置を移動し、同様に適温のhot(湯) cold(水)も変更します。
5		ユオン テキオン hot cold 95℃ 70℃ 10℃	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●適温を「シナイ」に設定すると、湯・冷水の温度に関係なく抽出できます。

沸騰させる

すぐに沸騰させたい場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウチュウ*	「沸騰」キーを押すと左記画面が順次自動表示され沸騰動作を開始します。 沸騰が終了すると待機画面に戻ります。
		ジョウキガ デマスガ イジョウ デハ アリマセン	

●沸騰動作中に「沸騰」キーを押すと解除します。

コントローラーの使いかた (つづき)

定期的に沸騰させたい場合

[例] 8 : 30と11 : 30に沸騰させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウセイギョ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		フットウ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「フットウ」が点滅します。
4	 	フットウ スル	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「スル」にします。
5		フットウ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイスウ 1カIME 2カIME ジコク 00 : 00 00 : 00	 キーで「ジコク」の画面を表示させます。
7	 	カイスウ 1カIME 2カIME ジコク 08 : 30 11 : 30	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「1カIME」を「8 : 30」、「2カIME」を「11 : 30」にします。
8		カイスウ 1カIME 2カIME ジコク 08 : 30 11 : 30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

浄水器の交換時期を設定する

この機能を使用するには別売の除菌浄水器（水フィルター）または除菌浄水器付の置台が必要です。

【例】2014年10月1日に浄水器を交換し、次の交換時期を1年後の2015年10月1日とする。

交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ジュウスイキ コウカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4	 	コウカン テイシ	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「テイシ」にします。
5		コウカン テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイシビ ショウキゲン 140601 150601	  キーで年月日の画面を表示させます。
7	 	カイシビ ショウキゲン 140601 151001	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「ショウキゲン」を「151001」にします。
8		カイシビ ショウキゲン 141001 151001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「コウカン」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。

「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。

- 「カイシビ」の年月日は「ショウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。

「コウカン」の設定内容の変更は「カイシビ」の年月日を換えずに変更することができます。

コントローラーの使いかた (つづき)

学習省エネ運転を設定する

【例】湯タンクの設定温度を73℃、冷水機の設定温度を0℃とし、湯および冷水を温度に関係なく抽出可能とする。
また、毎日の開始時間（強制的に休止状態を解除し運転を開始させる時間）を7:00に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		ガクシュウショウエネ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ ガクシュウショウエネ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ガクシュウショウエネ」が点滅します。
4	 	ドウサ ガクシュウショウエネ スル	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」にします。
5		ドウサ ガクシュウショウエネ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	オンド テイシ ユオン 80℃ 70℃	  キーで「ユオン」の画面を表示させます。
7	 	オンド テイシ ユオン 73℃ シナイ	  キーで点滅位置を移動し   キーで「オンド」を「73℃」、「テイシ」を「シナイ」にします。
8		オンド テイシ ユオン 73℃ シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	オンド テイシ スイオン 3℃ 9℃	  キーで「スイオン」の画面を表示させます。
10	 	オンド テイシ スイオン 0℃ シナイ	  キーで点滅位置を移動し   キーで「オンド」を「0℃」、「テイシ」を「シナイ」にします。
11		オンド テイシ スイオン 0℃ シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12	 	ジカン カイシジカン 7:00	  キーで「カイシジカン」の画面を表示させ、   キーで「ジカン」を「7:00」にします。
13		ジカン カイシジカン 7:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
14		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●「カイシジカン」は、学習した使用実績に関係なく、強制的に休止状態を解除し、自動お茶いれ機を使用できる状態にする設定です。

冷却用タンクの水の交換時期を設定する

【例】 2014年10月1日に冷却用タンクの水を交換し、次の交換時期を1年後の2015年10月1日とする。
交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*レイキャクスイ コウカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「コウカン」が点滅します。
4	 	コウカン テイシ	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「テイシ」にします。
5		コウカン テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイシビ ショウキゲン 140601 150601	 キーで年月日の画面を表示させます。
7	 	カイシビ ショウキゲン 140601 151001	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「ショウキゲン」を「151001」にします。
8		カイシビ ショウキゲン 141001 151001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「コウカン」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。
「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。
- 「カイシビ」の年月日は「ショウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。
「コウカン」の設定内容の変更は「カイシビ」の年月日を換えずに変更することができます。

コントローラーの使いかた (つづき)

現在時刻を合わせる

[例] 14-11-1 12:00に合わせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1	選 択	*ゲンザイジコク* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。（「選択」キーを押した後、 △ ▽ キーを押しても項目送りができます。）
2	訂 正 T	セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3	訂 正 T	14- 6- 1 (日) 1:01	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「年」が点滅します。
4	◀▶ △▽	14-11- 1 (土) 12:00	◀▶キーで点滅位置を移動し、△▽キーで各項目を変更します。（曜日は自動修正されます。）
5	設 定 S	14-11- 1 (土) 12:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	終 了 E	待機画面に戻ります。	設定完了です。

休止・故障履歴を見る(通常設定のみ)

【例】 故障履歴を見る

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		R・Lデエランデセンタク ショキセッテイ ツウジョウ	待機画面から、「選択」キーを押して、左の画面を表示させます。
2		R・Lデエランデセンタク ショキセッテイ ツウジョウ	 キーで「ツウジョウ」にします。
3		*コショウリレキ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。)
4		ナイヨウハ T→U・D オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
5		8. 14-10-10 12:34 コイン シンゴウ イジョウ	「訂正」キーを押すと最新の内容20項目が新しいものから順次  キーにより表示されます。 画面内容は上段の左から履歴番号、故障の年月日、同時刻、下段に故障内容の表示となっています。
		9. 14- 6- 1 1:01 ユ センサー シタ カイホウ	
6		待機画面に戻ります。	確認終了です。

- 休止履歴を見る場合は順序3で「キューシリレキ」を表示してください。

休止内容は下記項目を表示します。

- ・湯低水位
- ・浄水器交換
- ・水断水
- ・湯温低い
- ・冷却水交換
- ・冷却水断水
- ・水温高い
- ・排水バケツ満水
- ・電源遮断
- ・冷却準備中
- ・湯断水
- ・電源復帰

- 故障内容は下記項目を表示します。

- ・水センサー開放
- ・水センサー短絡
- ・IBCセンサー異常
- ・冷水機異常
- ・湯センサー下開放
- ・湯センサー下短絡
- ・湯センサー異常
- ・漏水検知
- ・電池異常
- ・コイン信号異常
- ・メモリー異常
- ・茶の葉交換機構異常

- 表示される内容は機種、置台の種類によって異なります。

コントローラーの使いかた (つづき)

原料の量を設定する

【例】初回8.0g、追加0.3gを設定する

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンリョウ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ショカイ ツイカ 6.0 0.2	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ショカイ」の下が点滅します。
4	   	ショカイ ツイカ 8.0 0.3	  キーで「ショカイ」の下を「8.0」にしてください。次に   キーで「ツイカ」の下を点滅させ   キーで「0.3」にします。
5		ショカイ ツイカ 8.0 0.3	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

飲料の量を設定する

【例】飲料ボタン3を量120mlに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユ・ミズ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン ュ 1 100ml	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4	   	ボタン ュ 3 120ml	  キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次に   キーで点滅位置を移動し   キーで「ユ」を「120ml」にします。
5		ボタン ュ 3 120ml	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

茶の葉を交換する

手動で茶の葉を交換したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*チャノハ コウカンチュウ*	「茶の葉交換」キーを押すと、左記画面が順次自動表示され交換動作を開始します。 交換が終了すると待機画面に戻ります。
		チャコシガ ドウサシマスノデ チュウイ シテクダサイ	

●茶の葉交換動作中は交換機構部に絶対に手を触れないでください。

茶の葉の交換条件を設定する

[例] 交換湯量1,000ml、交換時間30分にする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*コウカン ユリョウ ジカン* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン ユリョウ ジカン 800ml 0	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユリョウ」の下が点滅します。
4	   	コウカン ユリョウ ジカン 1000ml 30	  キーで「ユリョウ」の下を「1000ml」にしてください。次に   キーで「ジカン」の下を点滅させ   キーで「30」にします。
5		コウカン ユリョウ ジカン 1000ml 30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●順序4で「ユリョウ」の下の数値を1～9にすると、「ユリョウ」の表示が「カイスウ」に変わり、茶葉を交換するまでの抽出回数を設定することが出来ます。

コントローラーの使いかた (つづき)

長時間放置後の抽出量の追加を設定する

【例】飲料ボタン1を20%追加に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユ・ミズ ツイカ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン ユ 1 0%	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4	 	ボタン ユ 1 20%	キーで「ユ」の下を点滅させ キーで「20%」にします。
5		ボタン ユ 1 20%	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

冷水機の運転・停止

【例】冷水機を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*レイスイキ ウンテン* ナイヨウハ T オワリハ E	「冷水機運転」キーを押すと左記画面が表示されます。
2		ウンテン T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3		テイシ T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「テイシ」が表示されますので「テイシ」を表示します。
4		待機画面に戻ります。	冷水機の運転が停止します。設定完了です。

● 1 週間以上、冷水機を停止させる場合は、冷却用タンクの水を排出してください。

適温になっていないが抽出する

お湯や冷水の温度が適温に達してなく、飲料が抽出できないときに飲料を抽出したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1	タイマー解除	*タイマー イチジ カイジョ* ナイヨウハ T オワリハ E	「タイマー解除」キーを押すと左記画面が表示されます。
2	訂正 T	ウンテン T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3	訂正 T	イチジ カイジョ T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「イチジカイジョ」が表示されますので「イチジカイジョ」を表示します。
4	設定 S	待機画面に戻ります。	抽出ができるようになります。

- 通常の運転状態に戻すには、順序3で「ウンテン」に設定してください。
- 「週間予約」「休日予約」「抽出時間帯」の休止条件で休止中の場合は、同じ操作で休止を一時解除できます。
- 「学習省エネ運転」で運転中の場合は、同じ操作で学習省エネ運転を一時解除できます。

累計の抽出回数を見る

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1	カウンター	*カウンター* 131001 ホカハ U・D ~131231	「カウンター」キーを繰り返し押すと、年月日→トータル→ボタン1…ボタン6と抽出回数が順次表示されます。 (「カウンター」キーを押した後、△▽キーを押しても項目送りができます。)
		トータル 000000 ホカハ U・D オワリハ E	
		ユウリョウ 000000 ホカハ U・D オワリハ E	
2	終了 E	待機画面に戻ります。	確認終了です。

お手入れ

⚠ 警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る
感電やけがの原因になります。



指 示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない
ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

⚠ 注意

お手入れ部品は確実に取付けてください

茶の葉交換動作をさまたげ故障の原因になります。



指 示

茶がら容器のサイズに合ったビニール袋を使用してください

茶の葉交換動作をさまたげ故障の原因となります。



指 示

部品を取りはずし洗浄するときは

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

汚れが落ちにくいときは

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

茶シブの洗浄はお早めに

茶シブを放置すると落ちにくくなります。早めにふきとってください。

原料容器を着脱するとき

茶の葉を入れたままで、原料容器を着脱するときは、その先端から茶の葉がこぼれないように、静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れ、前面板を開けコントローラーの「茶の葉交換」ボタンを押し、茶こし網に新しい茶の葉を入れてご使用ください。

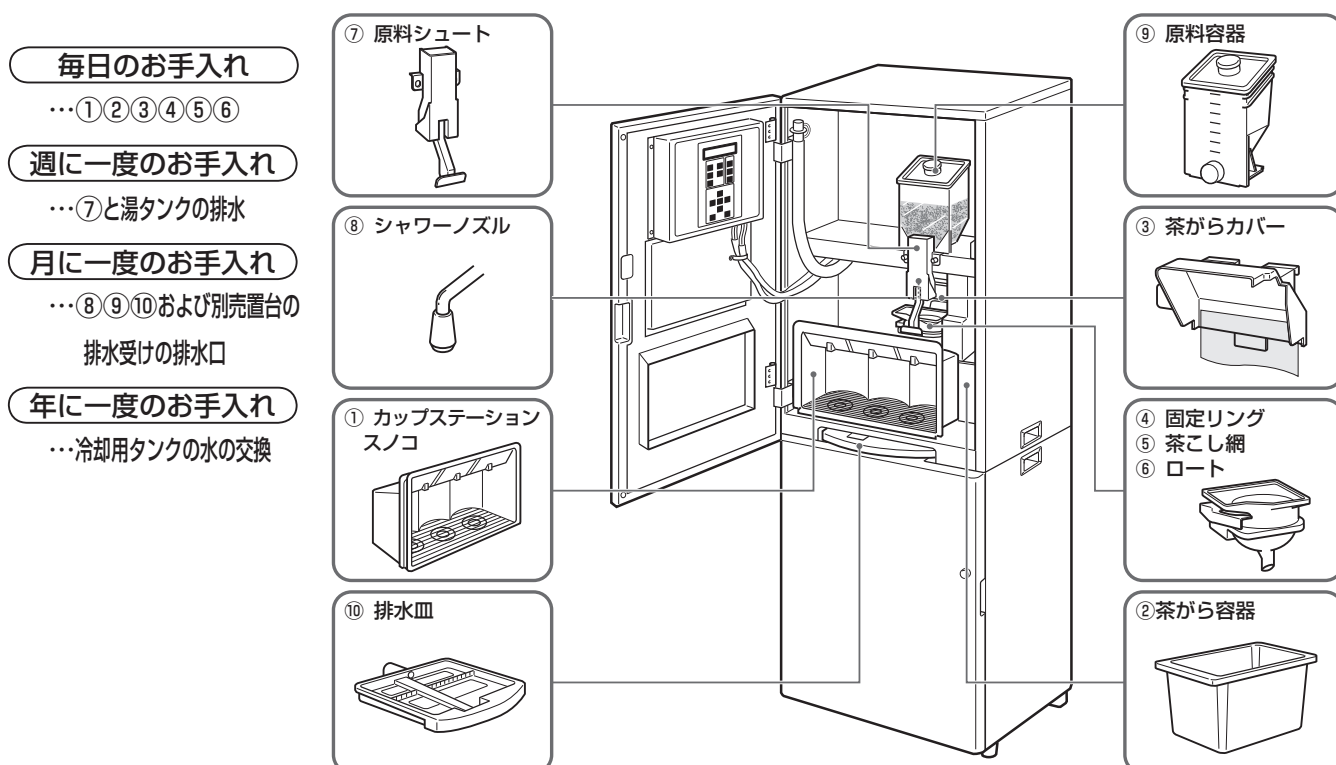
お茶の使用量の多い場合は

茶がら容器が一杯になる前に捨ててください。

お手入れの時期と手順

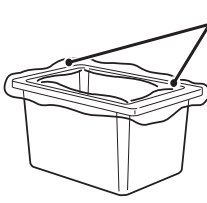
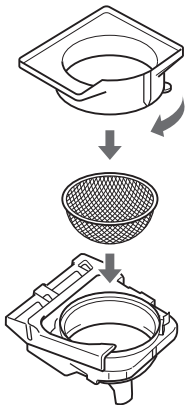
お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

順番が違ふと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。



毎日のお手入れ

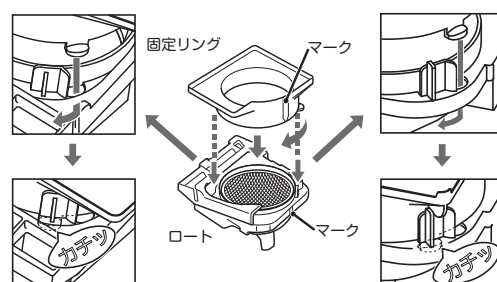
手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。
機械内外のホコリや汚れは、きれいなフキンでふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた
①	カップステーション	少し持ち上げてから、手前に取りはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。
②	茶 が ら 容 器	カップステーションをはずした後、手前にはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。 茶がら容器に袋を使用するときは、茶がら容器の大きさにあったサイズの袋を使用してください。茶がら容器より小さい袋をかぶせると突っ張って容器の内側へはみ出しますので使用しないでください。茶がら容器よりも大きい袋は内側になるみがないようにかぶせてください。  茶がら容器
③	茶 が ら カ バ ー	上に軽く持ち上げてから、手前にはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。
④	固 定 リ ン グ	左側レバーをつまみ手前にはずします。固定リングを左に回して上にはずし、3つの部品を中性洗剤を薄めたぬるま湯で、やわらかいスポンジなどでこすり洗います。 洗浄した後は水気を良く切ってください。  固定リング 茶こし網 ロート
⑤	茶 こ し 網	 1. ↓部をつまむ
⑥	ロ ー ト	 2. 手前に引き出す

お願い（茶こしの取り扱いについて）

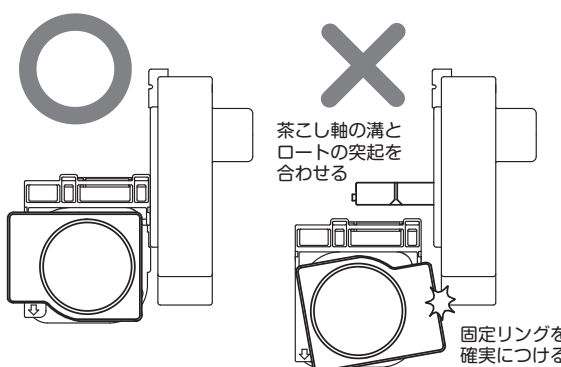
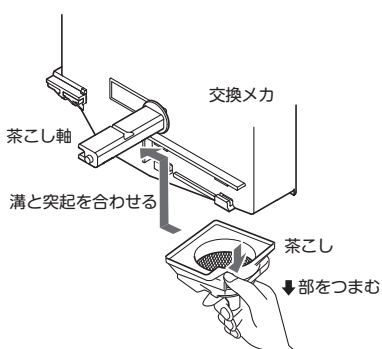
固定リングを取り付けるとき

固定リングを着脱するときは茶こしをはずした状態で行ってください。固定リングは取り付け方向がありますので十分に注意してください。固定リングの2箇所の爪をロートの取り付け穴に差し込み、カチッと音がなって止まるまで右に回し確実に取り付けてください。取り付け後は固定リングとロートの位置合わせのマークが合っていることを確認してください。



茶こしを取り付けるとき

茶こしを取り付けるときは、固定リングが確実に取り付けられていることを確認し、左側のレバーをつまみながら取り付けてください。
取り付けるときは交換メカの茶こし軸の溝とロートの突起（上下3箇所）が合うように注意して取り付けてください。



お手入れ (つづき)

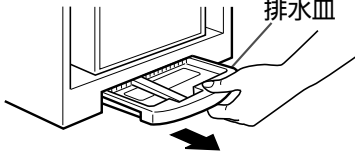
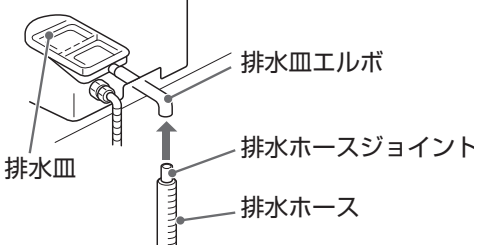
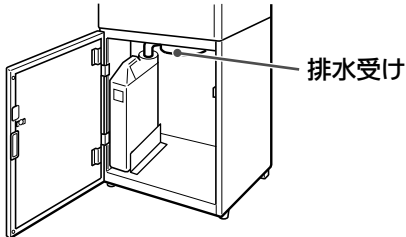
週に一度のお手入れ

①～⑥までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
⑦	原 料 シ ュ ー ト	化粧ネジ2本をゆるめ、上にずらして手前にはずし、ぬるま湯で洗います。 洗浄した後は十分に乾燥させてから取り付けます。
—	湯 タ ン ク	湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。

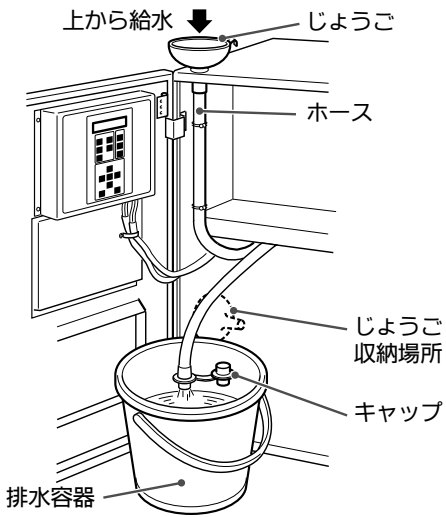
月に一度のお手入れ

①～⑦までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
⑧	シャワーノズル	パイプからシャワーとノズルをはずし、洗浄してください。湯垢などがたまり、目がつまってお湯の出が悪くなる場合があります。このようなときは、ノズルをシャワーからはずして、ピンのようなもので穴を通します。 ノズルをシャワーに取り付けるときは、ノズルの凸が下になるように取り付けます。シャワーは確実にパイプに差し込んでください。 
⑨	原 料 容 器	茶の葉を取り出して、ぬるま湯で洗浄した後は十分に乾燥させてください。
⑩	排 水 皿	本体底部から引き出して、ぬるま湯で洗ってください。  卓上の直接排水式 (Dタイプ) の場合は、排水皿エルボから排水ホースジョイントを外し排水皿を引き出してください。再度取り付ける際は、排水ホースジョイントを排水皿エルボ先端に確実に押し込み、緩みの無いことを確認してください。 
—	置 台 排 水 口	置台上方の排水受けの排水口がゴミなどで詰まる場合があります。化粧ネジ(1本)を取り、排水受けをはずし点検してください。ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。 

年に一度のお手入れ

冷却用タンクの水の交換

お手入れのしかた		
排水方法	キャップをはめたままホースをはずし、排水容器の中にホースの先端を入れ、キャップをはずし排水をします。(冷却用タンク容量：4.9L) 排水が終わったら、キャップをはめて、ホースを本体にセットしてください。	
給水方法	本体上部中央のネジをはずし上面板をはずしてください。ホースを本体にセットしたままキャップをはずし、上面の左手前側にある穴からじょうごを入れて、ホースの先端に差し込み、上から給水をします。じょうごは、本体内部の左側面の下側に収納されています。 タンクがいっぱいになると、溢れて排水皿に水が流れるのが見えます。給水を止め、じょうごをはずして、ホースにキャップをはめてください。	

別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。
置台については「はじめてご使用になる前に」（7～8ページ参照）をご覧ください。

カップホルダー（MTC-101）

MTC-101は、カップサイズが4段階調節可能で、自動お茶いれ機本体の左右に取り付け可能です。

原料

自動お茶いれ機専用として、特に厳選された原料を用意してあります。
原料は粒度や吸湿性の違いにより正常な動作ができないことがありますので、必ず指定の原料をご使用ください。

除菌浄水器（水フィルター）

水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぐためのものです。
水フィルターは性能を維持するため、定期的に交換が必要です。
詳しくは販売店にご相談ください。

自動洗浄装置（JST-24）

排水用電磁弁です。コントローラーで曜日・時刻を設定しておくと、その時刻に自動的に湯タンク内の水を排水し、再給水して新しい水と入れ替えることができます（但し直接排水できる場合に限りです）。

漏水検知装置（RKT-25）【D/PAタイプ用】

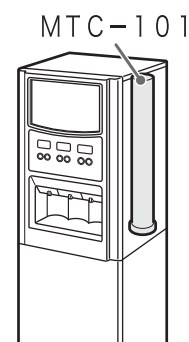
リード線付漏水センサー・外部追加の電磁弁・ドレンパンなどのセットで、万一水漏れした場合に外部追加の電磁弁を閉める機能があり、水漏れに対する安全性が向上します。

ドレンパン（RKT-01P）【PB/Tタイプ用】

置台の下に敷き、床面を汚さないようにするためのものです。大きさは524mm×574mmで、深さは17mmです。

リード線付漏水センサー（RKT-04P）【PB/Tタイプ用】

ドレンパンとセットで使用し、万一水漏れした場合に検知します。



修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
飲料ボタンのランプが点灯しない	● コントローラーに休止モニターが表示されていませんか？	● 休止モニターの表示に従ってください。
	● 学習省エネ運転による休止中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時解除してください。 ● 「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げ、適温になれば温飲料は抽出できます。
湯が沸かない	● 電源プラグがはずれていませんか？	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	● 電源スイッチが切れていませんか？	● 電源スイッチを入れてください。
	● 水タンクに水は充分入っていますか？ （下部給水タイプの場合）	● 水タンクの残水量が少なくなると本体へ給水なくなり、湯タンクの水位が下がりヒーターに通電されなくなります。タンクに水を補給してください。
	● 断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？（水道直結タイプの場合）	● 同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。
	● 「週間予約」・「休日予約」の休止中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時解除してください。
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 「タイマー解除」キーで一時解除するか、「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げてください。
湯がぬるい	● 湯温の設定が低くなっていませんか？	● お望みの温度に設定してください。
	● 湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	● 湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。
	● 水タンクには水は充分入っていますか？ （下部給水タイプの場合）	● 水を補給してください。 約40分で沸き上がります。
	● 断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？（水道直結タイプの場合）	● 給水配管の止水栓を開いてください。
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 「タイマー解除」キーで一時解除するか、「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げてください。
冷水の冷えがわるい	● 本体後面の排気口が塞がっていませんか？	● 本体を壁などの障害物から離してください。
	● 直射日光が当たっていませんか？	● 窓にブラインドなどをしてください。
	● 近くに熱器具がありませんか？	● 熱器具と離してください。
	● 連続して多量の冷水を取り出した後ではありませんか？	● 再び冷えるまでしばらくお待ちください。 約10分で適温となります。
	● 冷却用タンクに水が充分入っていますか？	● 冷却用タンクに給水してください。
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時解除してください。
排水ランプが点滅	● 置台の排水タンクが満水ではありませんか？	● 排水タンクの水をすててください。
断水ランプが点滅	● 水タンクには水は充分入っていますか？ （下部給水タイプの場合）	● 水を補給してください。
	● 断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？ （水道直結タイプの場合）	● 給水配管の止水栓を開いてください。
	● 冷却用タンクに水が充分入っていますか？	● 冷却用タンクに給水してください。
運転音が大い	● 機体が不安定ではありませんか？	● 丈夫で平坦な場所に据えつけ、機体がグラグラしないように安定させてください。
	● 機体が他の製品に触れていませんか？	● 他の製品から離してください。

修理サービスを依頼する前に (つづき)

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
飲料の味がまずい 飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●コントローラーの湯・水・原料の量は適切ですか？	●湯・水・原料の量を、お好みの味となるように再設定してください。
	●原料の種類をかえていませんか？	●指定の専用原料をご使用ください。
	●原料は充分入っていますか？	●原料を補給してください。
	●原料容器出口がつまっていますか？	●湿気が多いと出口がつまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
	●原料シュートは取り付けられていますか？	●原料シュートを取り付けてください。 原料シュートがないと原料が飛び散ります。

仕 様

項 目		給 茶 部	冷 水 部
製 品 寸 法		巾450mm×奥行515mm×高さ780mm（置台組合せ1430mm）	
製 品 質 量		35kg	
タ ン ク 容 量		5.6L	4.9L
湯・冷水温度		約90℃（73～98℃可能）	約4℃
原料容器の容量		約1200ml（専用茶で約420g）	
茶 の 葉 交 換		マイコン記憶による自動、又は茶の葉交換キーによる手動交換	
給 水 管 口 径		G1/2A	
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50/60Hz共用	
	消費電力	1,015W	145/150W
表 示		LEDランプ	
加 熱 装 置	電熱装置	シーズ線ヒーター（1,000W）	—
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール	—
	安全装置	温度過昇防止器	—
冷 却 装 置	圧 縮 機	—	完全密閉型
	凝 縮 機	—	プレートフィン付チューブ（強制空冷）
	冷 媒	—	HFC-134a（70g）
	温度調節	—	IBC（アイスバンクコントロール）
付 属 品		取扱説明書、工事説明書、鍵、排水皿エルボ	

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証期間

- この自動お茶いれ機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

- この自動お茶いれ機の補修用性能部品は製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

出張修理

38～39ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....
販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎている場合は.....
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容.....

品名	自動お茶いれ機
形名	HPT-363L
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！			
このような症状はありませんか。	●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中
			このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

長期使用製品の安全に関するお願い

長期使用製品の安全に関する表示

■設計上の標準使用期間：7年（製造年：本体内に西暦年をラベルで表示しています。）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。

また、一般的な故障を保証するものではありません。

■経年劣化とは

長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

標準的な使用条件と異なる場合、本来の使用目的以外や改造等で使用された場合短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件

区 分	項 目	条 件
環 境 条 件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz／60Hz
	室温	5℃～35℃
	湿度	85%以下
負 荷 条 件	給水圧	0.1MPa～0.75MPa
	給水温度	5℃～30℃
	負荷	12時間／日 使用
使 用 条 件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2,000杯
	1年間使用杯数	24,000杯

この自動お茶いれ機は長期使用安全のため 使用開始から 10 年で全運転を停止します

■この自動お茶いれ機は、使用開始時（設置してはじめて電源を入れたとき）からタイマーによるカウントを開始し、10年経過した時点で全運転を停止（すべてのランプ表示が消灯）する仕様になっています。

※電源を切っている間もタイマーのカウントは継続されます。

■全運転を停止する 90 日前から、コントローラーの液晶画面に停止までの残り日数を表示します。 お早目に販売店にご相談ください。

この自動お茶いれ機の設計上の標準使用期間は7年となっております。
より安全にご使用いただくため、お早目の交換、メンテナンスをいただけますよう
ご理解とご協力をお願いいたします。

MEMO

[illegible]

